

2017年「事故を決して忘れず安全を誓う集い」

2017年4月25日 基調講演

安全を支える考動と鉄道強靱化

JR西日本常務技術理事・構造技術室長 松田好史

安全な鉄道になるために

安全を支える人、安全を支える技術、安全を支えるコミュニティ、安全を支えるグループ会社との連携、安全を支える現場力など、安全を支えるものはたくさんありますが、私はそれを一つの言葉で言い表せば、安全を支える「考動」、すなわち、深く考えて具体的に行動することだと思っています。

画Pと実行Dだけでなく、安全に関するPDCAを意識して回すということが一般的に言われています。それも大切ですが、私はPDCAに加えて、常に原点に立ち返って考えることが大切だと思っています。

私の考える安全に関する原点というのは、2006年3月に制定された「安全憲章」であり、2008年2月の「安全有識者会議の提言」です。私は、より安全な鉄道になるためのヒントは、これらの原点の中にあると思っていますので、最初のことについて話したいと思います。

そういう意味で、本日の講演では、安全を支える考動と私がこれまで取り組んできた鉄道の強靱化に関する2つの考動の事例をご紹介します。最後に、こうすればさらに安全性が向上するのではないかと思っている考動のアイデアをご紹介します。

さて、より安全な鉄道になるためには、何をどうすればいいのでしょうか。計



JR西日本になってからも、その精神を受け継いできたわけですが、福知山線列車事故を惹き起こしてしまいました。

JR WEST

西労組

UNION ニュース

No.13 (通算)No.509 2017.7.10

JR西労組ホームページ (http://www.jrw-union.gr.jp)



西日本旅客鉄道労働組合

本部/〒530-0012 大阪府北区芝田二丁目一番十八号 (西阪急ビル9F)
TEL N T T O 〇 六 三 七 五 一 九 八 六 九 (代)
TEL J R R (大 阪) 〇 七 一 一 七 一 五 五 (代)
F A X N T T O 〇 六 三 七 三 一 四 一 一 三 三 (代)
F A X J R R (大 阪) 〇 七 一 一 七 一 五 三 (代)
●発行責任者/宮野山 勇市 五三
●編集責任者/宮野山 馬朗

[講師略歴]

JR西日本常務技術理事・構造技術室長

松田好史氏

昭和26年 奈良県生まれ 66歳。
大阪大学大学院を修了後、昭和51年に国鉄入社。
大阪工事事務所長、広島支社長などを経て、平成20年の発足時から構造技術室長を務める。

[表1]

安全の主な取り組みの経緯

